

令和5年産大栄西瓜販売対策会議

本日は、令和5年産の大栄西瓜の販売対策会議の開催、誠におめでとうございます。
います。

日頃は、山脇大栄西瓜組合協議会会長さんをはじめ、生産者の皆さま、そしてJA鳥取中央、鳥取県、取引市場の皆さまには生産から販売まで、大栄西瓜の発展のため、ご尽力をいただいていること、感謝申し上げます。

昨年度もコロナ禍の継続で、生産、出荷、販売と大変、苦勞されたことと思います。このような状況下ではありましたが、大栄西瓜の販売金額は、21年ぶりの22億円を突破という、うれしい結果となりました。

現在、コロナに関しては、季節性のインフルエンザと同じ扱いになったということです。まだまだ感染力も強いこともあり、油断することなく、作業に取り組んでいただいたらと思います。

さて、事前の情報では、西瓜の生育状況は順調ということですので、安心して
いるところです。

大栄西瓜は、北栄町の特産品、日本一の西瓜として、誰に送っても喜ばれます。ふるさと納税の方も好調であります。

また今年も、大阪や広島などで販売促進が計画されているようですが、私も微力ながら、ご一緒に販売促進を行う予定としております。

そして、4年ぶりの現地開催となります、6月18日のすいか・ながいも健康マラソンでは、協議会にもお世話になりながら、多くの方にファンになっていただき、その後、1個でも多くの購入をいただきたいと思っています。用意する西瓜、1,200個よろしく申し上げます。

そして、この4月に再整備した西瓜選果場において、機能向上により、良いものをより多く、出荷できる準備も整いました。

本日の販売対策会議において、決定された目標金額を達成するためにも、活発な意見交換をしていただきたいと思っております。

これからどんどん暑くなってまいります。熱中症等に十分留意され、作業を行っていただきたいと思っております。

終了時には、良い報告がありますことを希望し、お祝いのあいさつとさせていただきます。

令和5年5月10日

北栄町長 手嶋俊樹